

外国より団体旅行透析の 受け入れ経験

広瀬 陽子

はじめに

当院は広島県にあり、世界遺産の原爆ドームや厳島神社(宮島)の近くに位置する。

2017年7月に台湾のNPO法人 台湾腎友生活品質促進協会(以下TDQ)より、旅行透析の依頼があり、16名の団体透析の受け入れを経験したので報告する。

対象

- ・台湾の12透析施設より参加した合計16名
- ・男性6名、女性10名
- ・年齢60歳 $\pm$ 11
- ・透析歴7年 $\pm$ 5.5
- ・火木土の午後クールのベッドを使用
- ・スタッフ12名で対応

方法（旅行までのやり取り）

	TDQ	当院
2017年 2月	・TDQより団体透析の依頼 (5月下旬～6月上旬、10～15名、 13:30～14:00透析開始希望)	・紹介状、透析条件、透析記録、同意書依頼 (透析条件、同意書フォームをPDFで添付：図1・2)
2月	・台湾でツアー募集が開始	
3月	・旅行日が7/11(火)、参加者16名に決定	
6月	・紹介状・透析条件・同意書が添付(6/7) ・条件再確認し修正(6/28) ・透析中のガイド不在、代わりに看護師長が同行	・条件確認後、未記入箇所を再度確認依頼し当院で一覧表を作成：表1(6/20) ・透析中のガイド(通訳)の在中、止血方法など詳細を確認
7月	7/11 旅行透析	・電子カルテ、透析条件の入力 ・紹介状の返書事前準備 ・ベッド配置、スタッフ担当決め ・シュミレーション

透析条件一覧 表1

	氏名		性別	年齢	ダイヤライ	透析時間	ダイヤライザー	DW	血流	抗凝固剤					穿刺針				血液型	VA	感染症
1	〇〇〇	様	女	69	PS-2.3	4	EL25H	61.5	260	低分子 ヘパリン	初回		持続	500	A		V		O	左前腕	HCV(+)
2	〇〇〇	様	男	64	PS-2.0	4	PES2.0HF	59.8	300		初回	300	持続	200	A	16	V	16			-
3	〇〇〇	様			NV-18	4	PES1.8	51.4	270		初回	900	持続	600	A	18	V	18			HB(+)
4	〇〇〇	様	男	69	NV-18	4	PS1.8H	56.5	250		初回	500	持続	500	A	16	V	16	O+	左前腕	-
5	〇〇〇	様	男	72	NV-18	4	PS1.8H	49.8	280		初回	500	持続	0	A	17	V	16			HB(+)
6	〇〇〇	様	女	32	NV-10	4	FX80	56	280		初回	500	持続	500	A	16	V	16			HB(+)
7	〇〇〇	様	女	57	PS-2.3	4	EL25H	63.5	300		初回	1000	持続	500	A		V		A+	左	-
8	〇〇〇	様	女	42	NV-21	4	ELISIO21H	47.5	250		初回		持続		A		V			左上腕	-
9	〇〇〇	様	男	64	NV-10	4	FX100	64	300		初回	800	持続	400	A	16	V	16			-
#	〇〇〇	様	女	53	NV-21	4	PilyHux210H	51.6	250		初回		持続		A		V		B+	AVF	-
#	〇〇〇	様	女	62	NV-10	4	FX80	59.3	250		初回	1000	持続	500	A		V			左手前臂	-
#	〇〇〇	様	男	69	NV-21	3.5	EL21H	61.5	250		初回	500	持続	250	A		V		A+	右	-
#	〇〇〇	様	女	64	NV-10	4	FX80	75.3	280		初回	750	持続	500	A	17	V	17	A+		-
#	〇〇〇	様	女	53	HF-21	4	BG2.1U	54	250		初回	1500	持続	750	A		V		B+	左肘部	-
#	〇〇〇	様	女	57	NV-10	3.0～3.5	FX60	38.3	160～250		初回	2000	持続	0	A		V		A+		-
#	〇〇〇	様	女	60	NV-15	4	Rexeed15L	42	250		初回	500	持続	250	A		V				HB(+)

※未記入箇所を黄色で表示

結果（透析開始時）

- 前日 人数等変更がないかガイド（通訳）と電話で確認
- 当日 来院時間が1時間30分遅延することを電話連絡で確認
- ガイドが名前を読んで体重測定
DW等条件変更を修正
- 体重測定後ベッドへ案内
- 開始は看護師・臨床工学技士
各1名で対応、コンソール画面を
患者と一緒に確認・条件を設定

体重測定時

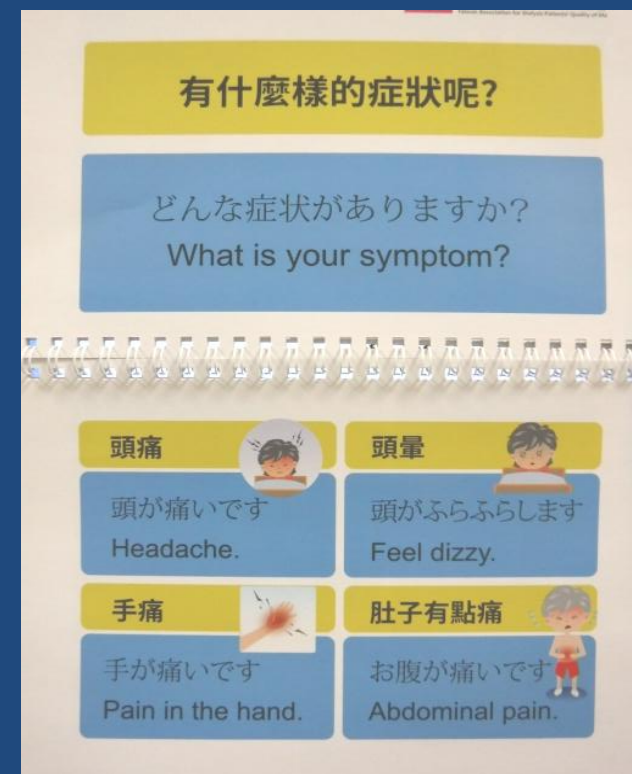


穿刺時



結果（透析中）

- 患者家族・ガイド（通訳）は観光へ行き通訳不在となる
- 同行していた台湾の看護師長とバイタル確認や、条件再確認
- コミュニケーションは主に筆談・ジェスチャー・スマートフォンの翻訳機能・TDQ作成の会話カードを使用
- 透析中1名気分不良の訴え
- チャンバが凝固し回路交換実施



結果（終了時）

- スタッフが抜針後、圧迫を患者家族が抑え止血する
- 体重測定終了後、紹介状の返書と当日記録を渡す



スタッフの感想

- 言葉が通じずコミュニケーションが難しく、体調不良や相手の要望を具体的に理解する事が困難だった
- 透析開始するまでは、来院患者の表情が硬く、緊張感が伝わってきた
- シヤントの状態は良好でも、コミュニケーションが取れない初めての患者への穿刺は、普段の数倍もストレスを感じた
- 自分の治療条件を把握しており、家族での治療への参加が素晴らしいと思った
- 他国の看護師・患者と交流でき、透析の違いを知れて良い経験になった

まとめ

海外の方の旅行透析を受け入れ、コミュニケーションの不安があったが、短い時間の中でも通じ合えた。しかし、細かい訴えを汲み取る事は難しかった。

台湾の透析事情に触れ、自分の治療に積極的に家族の協力的な部分に感心した。

この経験を生かし、当院を訪れる旅行透析患者に安心出来る医療を提供していけたらと思う。

日本透析医学会 COI 開示

筆頭発表者名： 広瀬 陽子

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある
企業などはありません。